



厚沢部町ゼロカーボンシティ宣言

厚沢部町は、穏やかな気候と自然豊かな山河に囲まれた環境を活かし、農業と林業を基幹産業としているまちです。特に、当町は「メークイン発祥の地」であり、代表的な馬鈴薯の産地として知られています。

近年、地球温暖化の影響により、猛暑や豪雨といった異常気象が頻発し、農作物への被害や災害の増加などの懸念が高まっています。この状況に歯止めをかけるためにも、地球温暖化の要因である二酸化炭素の排出を抑制していく取り組みが求められています。

このような情勢を踏まえ、令和2年10月に政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルの実現を目指すことを宣言しました。

当町においても、令和4年9月に「厚沢部町カーボンニュートラルビジョン」を策定し、地域の特性を最大限活用することで、2030年までにカーボンニュートラル、2050年までにマイナスカーボンを達成するための具体的な施策やロードマップを検討しました。

上記ビジョンに基づき、豊かな自然を次世代に継承し、一人ひとりが安心して暮らせる「世界一素敵な過疎のまち」を目指していくため、2030年までに二酸化炭素排出量実質ゼロの達成を目指していくことをここに宣言します。

令和5年1月1日

北海道厚沢部町長 渋田正己